

◇ 専門部会記録

令和5年度 両沼・耶麻中学校教育研究会 第一次研究協議会 記録

期日：令和5年7月 27 日（木曜日） 会場：喜多方一中

部会名	音楽 部会	部会長名	耶麻：佐藤 容子 両沼：小寺 真紀
【研究主題】	音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中、音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する指導は		
【副主題】	どうすればよいか		
	音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る 学習指導の工夫		
指導助言者	なし 先生		
発表者	全員		
司会者	小寺 真紀		
記録者	新田 喜恵		

No.	参加者名	所属校	No.	参加者名	所属校
1	小寺 真紀	昭和中	10		
2	佐藤 容子	喜一中	11		
3	新田 喜恵	本郷中	12		
4	小野 佑里絵	高田中	13		
5	横田 美代	塩川中	14		
6	花泉 恵里	喜三中	15		
7			16		
8			17		
9			18		

1. 開会のことは

2. 部長挨拶

3. 研究協議 (指導助言者の) 指導

(1) 喜三中 (花泉先生)

・題材名「ジョーズ」からジョーズのテーマ (資料1参照)

Q 知っている映画音楽で出てきたものは……

A ハリー・ポッター インディジョーンス

Q めあてに対する生徒の答えの予想はどのように

A こわい、何かが追いかけてくる……

※ 音のリズムの変化をどう感じ取らせるか、50分の中で
どう感じ取らせるか、ポイントをしぼっていくと良かった。

※ タブレット等で情報を少し与えておくことで「興味」が
変わる。(ICTの活用)

※ 映像の恐怖感を音楽で倍増させている事を生徒が
感じ取る。

※ 50分の中で教える内容をしぼる。

※ まとの、ふり返りの工夫 (まとの感想を書くより歌わせたり
曲を聴かせたりする) でまだ50分を音にふれさせる。

※ 子どもたちの日常に音楽をくみ込ませることが大切

※ 音楽で得た知識を様々な場面で活用する力

(2) 高田中 (小野先生)

・題材名「ブルタバ」、「夏の思い出」(資料2参照)

Q 録音はどのように……

A 自分で自分の演奏を録音する。

Q ガルタバのワイズ'形式'はどのような...

A 3枚ぐらいで選ばせた

※ 曲を流しながら映像を流す(可視化)

※ 聴く力を高めるために何を準備するかが大切

※ 歴史的背景をふざいさせる為に、他教科とのコラボ。

※ 言語活動... 話させることだけではない... 書く、つぶやき、
情報の共有等

※ 上机に歌いたいと思わせることが大切。その為に教員ができることは
何かを考える。

※ 楽器は、フラッシュカードを作成して活用。子どもたちに
理解させるのに便利。

(3) 本郷中(新田)

※ 主体的に学ぶためには教師の学びが大切。

※ 1年生は主体的より自主的、2、3年生になれば主体的に

※ 「春」以外にも聴かせる。

※ 曲を聴いてどんな場面かを書かせる。

※ 同じ曲の様々な演奏を聴き比べる。

※ 気に入った場面が同じだった人同士で意見交換をし、
さらにグループで共有すると深まりがある。

(4) 塩川中(横田先生)

・題材名「リズムを組み合わせて、創作表現を工夫しよう」

(資料4参照)

Q 協働場面の評価は何を見取って評価したのか

A 発表が評価。(表情や態度も評価の1つになる)

※ 指導案を書く

～ させる → どんな力を身につけさせたいか学ばせたいか

が裏がわにある書き方。学びの視点

※ 協働の中に対話がたくさんある授業

※ 動画に録って共有するなど

Q グループ分けはどのように

A 出席番号順で行ったが、みんな上手にできていた

Q 反復や変化を工夫させる為の説明はどのように

A デジタル教科書で提示して行った。

b. 協議・諸連絡

(1) 県大会参加者選出

1. 高田中 (小野先生)

2. 喜三中 (花泉先生)

3. 本郷中 (新田)

4. 塩川中 (横田先生)

5. 小寺先生

6. 佐藤先生

(2) 二次研の持ち方

・ 10月25日(水) 14:00～ 高田中

・ 県大会参加者の伝達中心

・ 司会 佐藤先生 記録 花泉先生

令和5年度 北会津中教研音楽部会資料

喜多方市立塩川中学校 横田 美代

研究主題

「 音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する指導はどうあればよいか 」

研究副主題

「 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る学習指導の工夫 」

1 はじめに

【指導にあたって】

表現・鑑賞を深めるには…



- ・他者と協働して音楽表現を生み出す学習の充実
- ・音楽を聴いて、よさや価値等を考える学習の充実

さらに…

+

言語活動を適切に位置づける指導の工夫

○音楽活動は



音や音楽によるコミュニケーションが基盤

○音楽科の学習は



言葉によるコミュニケーションを適切に位置づけることで



音や音楽によるコミュニケーションを充実させることができる

音楽によって喚起された自己のイメージや感情、思いなどを他者と伝え合ったり、他者がどのようなことを意図しているのかをよく考えて、それに共感したりするためには、言葉によるコミュニケーションが必要となる。

生徒が音楽に関する言葉を用いて、音楽によって喚起されたイメージや感情、音楽表現に対する思いや意図等を相互に伝えあう活動を取り入れることによって、音によるコミュニケーションが一層充実することに結びついていくように配慮することが大切である。

2 研究実践の内容

(1) 題材名 「リズムを組み合わせ、創作表現を工夫しよう」

(2) 題材の指導計画

- ①教科書 p 16 リズムゲームから「好きなリズムを選ぼう」→「リズムアンサンブル」グループ活動
- ②グループで発表「アンサンブルを楽しもう」→「リズムチャレンジ」個人・グループ活動
- ③「12小節のリズムを作ろう」グループ活動
- ④「リズムのテーマを考え、工夫して発表しよう」発表まとめ…（本時）

(3) 本時のねらい

組み合わせてできたリズムのテーマを決め、アンサンブルを工夫することができる。

- ・観点2（思考・判断・表現）・観点3（主体的に取り組む態度）

授業テーマ

リズムを組み合わせ知覚・感受したものを言葉で表出することで、工夫した創作活動ができる授業

3 学習過程

段階	学習活動・内容	時間	○指導上の留意点 ◇評価方法
導入	1 前時の学習を振り返る。 2 リズムチャレンジで創作した12小節～14小節のリズム打ちを練習する。 ・3回～5回練習する。 3 本時の学習課題をとらえる。	10分	○ メトロノームに合わせて、一斉に割り箸でたたいて練習をさせる。 ○ リズムチャレンジで作ったリズムを短時間で確認させる。 ○ 学習帳に本時のめあてを記入させる。 (机間巡視)
	リズムのテーマを考え、工夫して発表しよう		
協働	4 班ごとにまとめたリズムにテーマを決める。 ・班ごとに話し合いながらリズムのテーマを考える。 ・テーマに合わせて練習をする。 5 班ごとに発表する。 ・発表前にテーマとその説明をし、発表する。 ・1班～7班 6 感想を発表する。(各班より)	20分 15分	○ リズム、音色、強弱、その他の工夫ポイントや雰囲気からテーマを決めさせる。 ○ テーマを意識させながら練習させる。 ○ 発表させる。 ◇ テーマにあったリズム発表ができたか。 ○ 班の代表者に感想を発表させる。
	7 講評 ・音楽の3要素(リズム、メロディー、ハーモニー)について知る。 8 次時の予告を聞く。		
まとめ		5分	○ リズムの幅広さや楽しさを伝える。 ○ さらに、旋律や和音がつくことで合唱などの音楽につながることを説明する。

4 研究結果の考察

- リズム練習を割りばしで行った。熱心に取り組む生徒が多くみられた。最後の音が合うと全員がすっきりした気持ちになれた。合わないと何度でも練習しようとする生徒が多くみられた。
- リズムアンサンブル発表では、グループごとに協力し発表することができた。満足する表情であった。
- テーマに苦戦しているグループもあったが、意図が伝わる発表になった。テーマをイメージすることは難しいが、大切であると思った。
- 自分で作るリズムでは考えているリズムと記譜したリズムでは違いがあり、混乱する場面も見られた。難しい場面だと思った。
- 発表の流れの中で、リズムのテーマと説明を発表してから演奏すれば鑑賞するポイントがわかりやすかった。

5 反省と今後の課題

大半の生徒たちが耳コピーでリズムやメロディを演奏する。手っ取り早くて楽に覚えられるのが良いのだが、最終的には楽譜を読んで正確に演奏できるようにさせたい。今回の取り組みで、カッコいいリズムだとか激しいリズムだとか思い描いていたが、どう記譜すべきか迷っている姿もあった。生徒のやる気を高めながら指導の工夫を続けていきたいと思う。

令和5年度 耶麻・両沼中教研第一次研 音楽部会資料

喜多方市立第三中学校 花泉恵里

研究主題 「音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽・音楽文化と豊かに関わる
資質・能力を育成する指導はどうあればよいか」
副主題 「音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る学習指導の工夫」

1 研究実践の内容

(1) 題材名 第1学年 映画「ジョーズ」から「ジョーズのテーマ」

(2) 実践の内容

- 映画の内容による先入観をなくすために、映画名を伏せて鑑賞し自由なイメージをもるようにした。
- 最初にもったイメージの理由を、ポイントを絞って考えられるようにした。
- 班の構成を意図的に男女別にし、また班活動の時間を多くもつようにした。
- 単なる感想文で終わらないように、曲の紹介文としてよいと感じたところをまとめた。

(3) 指導過程

段階	学習内容・活動	時間	形態	指導上の留意点
導入	1、映画音楽について考える。 2、本時のめあてを確認する。 イメージから曲のよさを考えよう。	10	一斉	○知っている映画音楽について聞き、関心をもたせる。
展開	3、イメージをつかむ。 ・曲全体を鑑賞し、思い浮かんだイメージを考え、発表する。 ・なぜそのように感じたか考え、班で発表する。 ・学級全体で発表する。 4、音の高さや強弱などの変化を聞き比べる。	30	個人 班 全体 班	○曲名を伏せた状態で鑑賞し、自由にイメージさせる。 〈ワークシート〉 ○「注目ポイント」と考えるように促す。〈ワークシート〉 ○ピアノで実際に演奏する。 ○感じ方の違いを班で自由に話すように促す。
まとめ	5、紹介文を書き、学級全体で発表する。	10	個人 全体	○感想文ではなく、曲のよさを伝える紹介文になるようにする。

① 音の高低	急激に変わっている。
② リズム	低音と高音の強弱がだんだん速くなっている。
③ 強弱	速さを増すごとに強くなっているような感じ。
④ 速度	だんだんと速くなっていく感じがする。
⑤ 音色	怖くなっていく感じ。
＜その他＞	おもしろい。